

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくでひあん

(EKUTEBIAN VOL.13 OCTOBER 1994 EKUTEBIAN)

10



土い　あーと * 粘土模型「旧慶應大学図書館」by 藤沢みのる



多彩な趣味を持つ高木美代子さん(錦町4丁目)が特に造詣を深めていたのが、料理。平成3年の春ついに、ご主人が経営する工務店の2階に『レストランたかぎ』を開店して「専門家」になってしまった異色の女流。ランチタイムには「高木さんのお昼」をいただきに常連客でいっぱい(夜は予約客のみ)。今日は季節に合わせて「栗ごはん」だったが、栗はおに皮ごと煎ってから丁寧にむく、風味を逃がさないこころ遣い。「おふくろ煮」は鶏肉、ぜんまい、しめじなど甘辛の味つけて、油揚げに詰めて、だし汁で煮込んだ、いかにもおふくろの味。ほかにもこんにゃくのびり辛煮、大根と人参の酢漬けなど「高木ラインナップ」でのもてなし。形骸化した「おふくろの味」を本来の姿に戻して、3年が過ぎた。

撮影:井上義治

平成6年度 福祉バザー



11月6日
(日曜日)
11:00~14:00

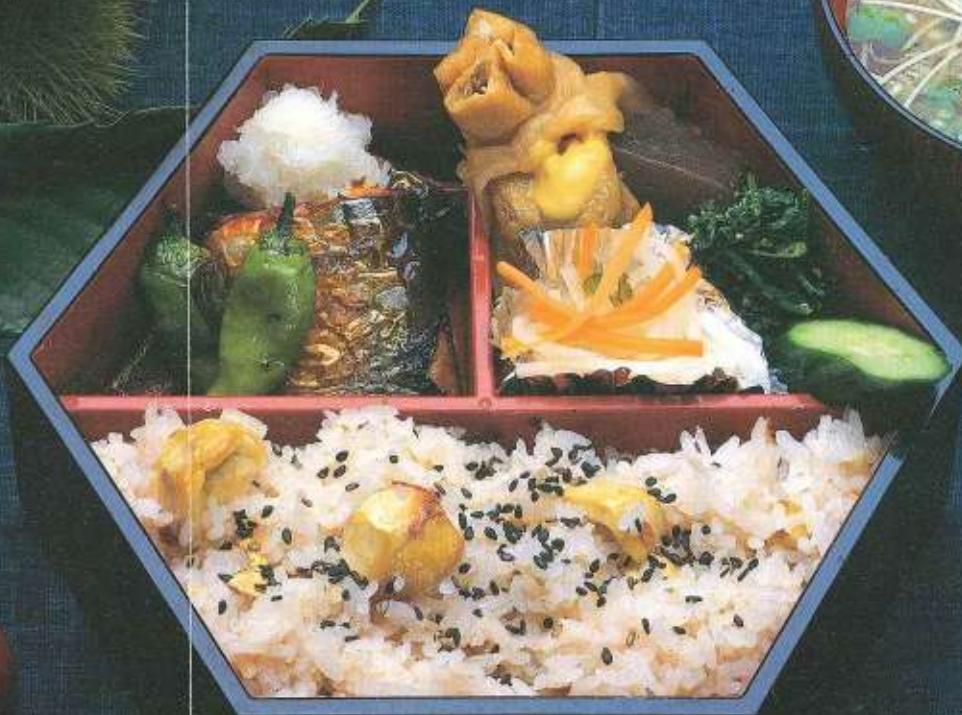
日用雑貨、衣類など皆様の
ご協力をお願い致します。
(締切、10月末日迄)

特別養護老人ホーム
砂川園

立川市上砂町
5-76-4
TEL 37-3351
(担当 星)



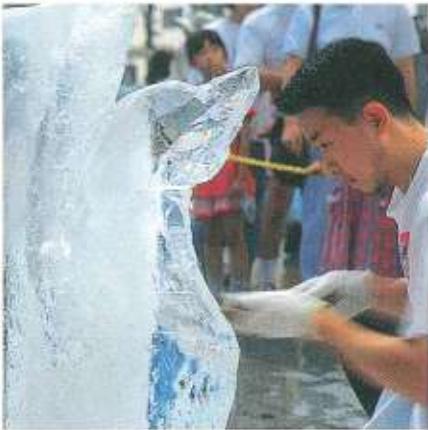
高木美代子の ふるさとの秋 「茶飯風栗ごはん弁当」



今年はほんとの夏でした

◎たちかわ 夏のおもいで日記帖◎

秋が来ました。工房の日記帖を開くと、今年の夏の頁は思い出が山盛りになっていました。読み返せばあの暑さがよみがえって来ます。



たちかわ氷まつり

7月30日(晴れ)

北口大通りに並び立つ氷の彫刻。額に汗する氷の芸術家たちの本当の相手は、氷ではなくてこの熱気／でもあかけて、この日はほんの少し、北口に涼しい風が吹きました。



'94ミス立川
コンテスト

7月30日(晴れ)

氷まつりの大通りからアパートに入ると、ミス立川コンテストが行われていた。勢揃いした立川美人に、暑さを忘れて見とれてしまいました。浴衣姿もいいねえ。



立川よいと祭り

8月21日(晴れ)

巨大な太鼓の音が街中に響き渡れば、われらお祭り人間の血が騒ぐ。再開発で少しづつ変わっていく北口の街並だけど、変わらないのはよいと祭りと立川人の心意気／



長野県大町市
「ふるさと体験交流」
8月6日～8日(晴れ)

大町市とは姉妹都市。今年で体験交流も8年目。名物「やまびこ祭」に参加したり、農園で野菜の収穫を体験したり、夏いっぱいにヤンチャ立川人の心の山国日記。



真夏の夜の演劇祭

8月23日～28日(晴れ)

たちかわ演劇祭も今年で3回目。夏の風物詩として、すっかりあなたじみとなりました。外は真夏の熱帯夜。会場の温度も熱演で一気に上昇！(写真は劇団「空KU」)



立川諏訪まつり

8月27日・28日(晴れ)

諏訪まつりがなけりや、立川の夏は終わらない。柴崎2丁目は中和会のお神輿を担がせてもらつた。肩の神輿ダコは消えたけど、あの興奮は忘れない。来年もかつぐソ！



小林宏寿の

AT PARKS....

心地よい風。本もれ日。子供たち
の遊び声。今年は公園と話そう。

第10回 富士塚児童遊園

江戸の中期、「富士講」の人々によ
って築かれたミニ富士山。
登ると大きな歴史の中で子供たち
が育ってゆくのが見えるようだ。

